

第4章 計画の推進に向けて

総合計画に基づき各分野の施策・事業を効率的・効果的に実施するために、毎年施策評価をし、その結果に基づき次年度以降の方針を立て、実施計画へ反映させるPDCAサイクルによる計画の進行管理を行います。

1. 総合計画の運用・進行管理の方針

第3章分野別計画に設定した成果指標の達成状況、前年度の事業・取組の実績に基づいて、施策方針に掲げる施策評価を毎年度実施します。その結果を実施計画に反映し、予算化することで、事業の実施、施策評価を繰り返すPDCAサイクルを運用します。

評価と予算を連動させ、実効性のある進行管理システムを構築します。

2. 進行管理の仕組み

① 施策評価 (Check: 評価)

成果指標の数値、前年度の事業・取組の実績を参考に分野別計画に掲げる施策の基本方針（施策が目指す姿）にいかにか近づけたかを各課等において確認し、分野別計画の施策方針別に達成状況を評価します。

また、総合計画の中間見直しの際には、総合計画審議会へ計画期間における施策の実績を提示して、施策評価の取りまとめをします。

② 実施計画 (Action: 改善)

施策評価に基づき、向こう3か年で実施予定の主要事業を位置づける実施計画を策定します。

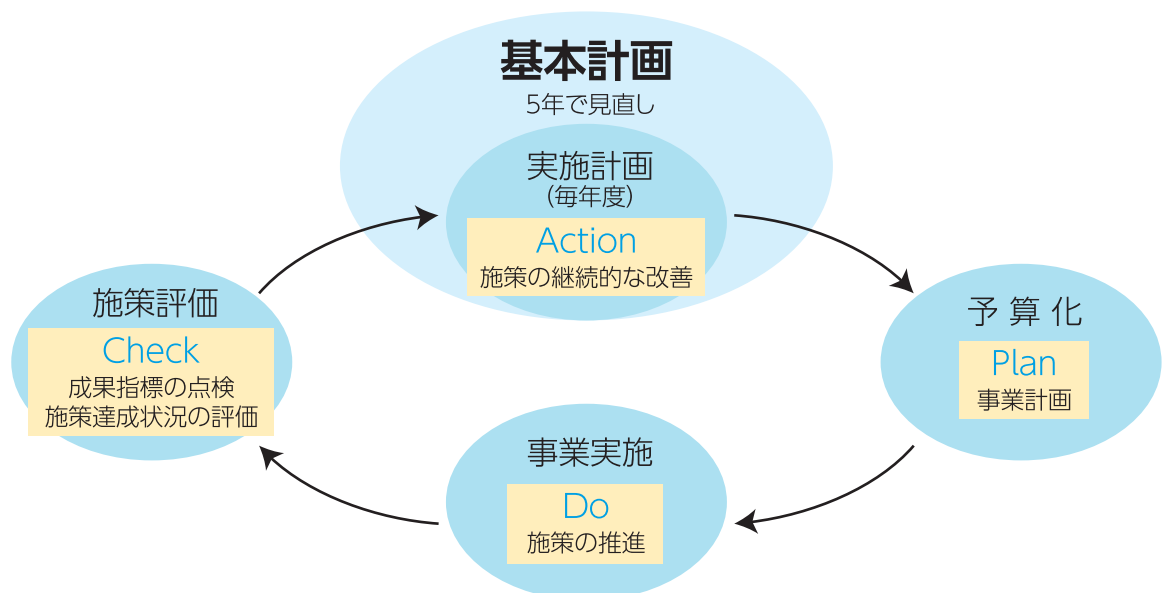
③ 予算化 (Plan: 計画)

実施計画を毎年度における予算編成の指針とし、次年度予算を編成します。

④ 事業実施 (Do: 実行)

予算化された事業を実施します。

【総合計画の進行管理システム】



3. 進行管理の実施体制

施策評価は、分野別計画に掲げる施策方針の評価を確認するとともに、その評価に基づき、実施計画原案を作成します。

実施計画原案をもとに、ヒアリングを行い実施計画を策定します。

その後、実施計画に掲載した主要事業を含めた予算案を取りまとめます。

この予算案について議会での審議・承認を得て、各課等は予算に基づき事業を実施します。

1-2 策定経過

年	月	町議会	総合計画審議会	策定委員会	策定部会	住民参加	内容	
平成30年 (2018年)	10月			①			第1回武豊町総合計画策定委員会(22日)	
	11月					○	町民意識調査(11月19日～12月7日)	
							○	中学生意識調査(11月19日～12月10日)
							○	若者・子育て世代アンケート調査(11月19日～12月7日)
							○	企業・事業所アンケート調査(11月19日～12月7日)
12月					○	来訪者Webアンケート調査(12月21日～平成31年1月4日)		
平成31年 令和元年 (2019年)	1月					○	団体ヒアリング 13団体(1月30日～2月13日)	
	5月				①		第1回武豊町総合計画策定部会(9日)	
				○	○			第6次武豊町総合計画策定に向けた職員研修(17日)
					②		第2回武豊町総合計画策定部会(21日)	
	6月				③		第3回武豊町総合計画策定部会(19日)	
	7月				④		第4回武豊町総合計画策定部会(10日)	
	8月				⑤		第5回武豊町総合計画策定部会(2日)	
				②				第2回武豊町総合計画策定委員会(23日)
	9月				⑥		第6回武豊町総合計画策定部会(19日)	
	10月						○	地区別懇談会(富貴小学校区:23日、衣浦小学校区:24日、武豊小学校区:29日、緑丘小学校区:30日)
						⑦		第7回武豊町総合計画策定部会(25日)
	11月						○	武豊町総合計画策定部会グループ協議(11月19日～12月3日)
							○	第1回まちづくり会議(16日)
12月						○	第2回まちづくり会議(21日)	
令和2年 (2020年)	1月					○	第3回まちづくり会議(18日)	
				③				第3回武豊町総合計画策定委員会(23日)
	2月		①					第1回武豊町総合計画審議会(5日)
					○			武豊町総合計画策定部会グループ協議(2月12日～2月20日)
						○	第4回まちづくり会議(15日)	
	3月	①					全員協議会(2日)	
	4月		②					全員協議会(14日)
					④			第4回武豊町総合計画策定委員会(20日)
						⑧		第8回武豊町総合計画策定部会(22日)
			②				第2回武豊町総合計画審議会 書面会議(20日～5月1日)	
	5月						○	第5回まちづくり会議 書面会議(14日～21日)
					⑤			第5回武豊町総合計画策定委員会(20日)
	6月		③					行政報告会(2日)
					⑥			第6回武豊町総合計画策定委員会(23日)
	7月			③				第3回武豊町総合計画審議会(10日)
				⑦			第7回武豊町総合計画策定委員会(21日)	
8月			④				第4回武豊町総合計画審議会(4日)	
						○	パブリックコメント(8月19日～9月18日)	
10月				⑧			第8回武豊町総合計画策定委員会(5日)	
			⑤				第5回武豊町総合計画審議会(15日)	
12月		④					行政報告会(1日)	
			⑤				第6次武豊町総合計画基本構想・議案上程(1日)	

2 総合計画審議会

2-1 武豊町総合計画審議会委員

敬称略

No	区分	氏名	役職等
1	町教育委員会の委員	◎出口 智康	武豊町教育委員会代表
2	各種団体の代表者	西尾 文好	武豊町農業委員会長
3	各種団体の代表者	竹内 宏行	武豊町勤労者代表(連合愛知知多地域協議会副代表)
4	各種団体の代表者	天木 一馬	武豊町商工会長
5	各種団体の代表者	土屋 富好	あいち知多農業協同組合武豊地域担当理事代表
6	各種団体の代表者	高橋 勝彦	武豊町経営者懇談会代表
7	各種団体の代表者	木村 保夫	武豊町社会福祉協議会長
8	各種団体の代表者	榊原 邦夫	武豊町文化協会長
9	各種団体の代表者	山内 輝男	武豊町老人クラブ連合会長
10	各種団体の代表者	澤田 憲吾	武豊町子ども会育成連絡協議会長
11	各種団体の代表者	田中 稔	武豊町スポーツ協会長
12	各種団体の代表者	井上 久枝	武豊町ボランティアセンター代表
13	知識経験を有する者	○花田 鮎美	まちづくり会議代表
14	知識経験を有する者	鈴木 政司	長尾部長
15	知識経験を有する者	羽山 和彦	大足区長
16	知識経験を有する者	岩瀬 計介	富貴地区区長会長
17	知識経験を有する者	千頭 聡	日本福祉大学教授
18	知識経験を有する者	岡田 濃 (村井 琢磨)	愛知県総務局総務部市町村課地域振興室 兼 愛知県知多県民事務所県民防災安全課 担当課長 (愛知県総務局総務部市町村課地域振興室 兼 愛知県尾張県民事務所 知多県民センター県民防災安全課 主幹)
19	公募による者	初山 淳一	
20	公募による者	高木 正博	
21	公募による者	新美 結花	
22	公募による者	旭形 幸彦	
23	公募による者	藤野 由香梨	
24	公募による者	植田 智紀	
25	公募による者	水上 薫	

◎会長、○副会長、()内は前任者

2-2 武豊町総合計画審議会を開催経緯

回	開催日時	審議内容
第1回	令和2年(2020年) 2月5日(水) 13:30~15:10	(1) 諮問 第6次武豊町総合計画について諮問 (2) 総合計画の概要について (3) 第6次武豊町総合計画の策定経過について (4) 第5次武豊町総合計画成果指標について (5) 第6次武豊町総合計画(案)について ・基本構想(案) ・基本計画(案)
第2回	令和2年(2020年) 4月20日(月)~5月1日(金)	(1) 第6次武豊町総合計画(案)について ・基本構想(案) ・基本計画(案) ※新型コロナウイルス感染拡大予防のため書面会議にて対応
第3回	令和2年(2020年) 7月10日(金) 10:00~11:05	(1) 第2回審議会からのご意見・ご提案について (2) 基本構想(案)、基本計画(案)の主な変更点について (3) 武豊町版SDGs(案)について (4) 重点施策方針(案)について (5) 計画の推進(案)について
第4回	令和2年(2020年) 8月4日(火) 13:30~14:00	(1) 第3回審議会からのご意見・ご提案について (2) 第6次武豊町総合計画(案)について
第5回	令和2年(2020年) 10月15日(木) 10:00~11:30	(1) 第4回審議会からのご意見・ご提案について (2) パブリックコメントの実施結果について (3) 第6次武豊町総合計画答申(案)について (4) 答申 第6次武豊町総合計画について



2-3 武豊町総合計画審議会 諮問・答申

〈諮問〉

武企発第1453号
令和2年2月5日

武豊町総合計画審議会
会長 出口 智 康 様

武豊町長 初 山 芳 輝



第6次武豊町総合計画について（諮問）

武豊町総合計画条例第5条の規定に基づき、第6次武豊町総合計画の策定について、
貴審議会の意見を求めます。

〈答申〉

令和2年10月15日

武豊町長 初山芳輝 様

武豊町総合計画審議会
会長 出口 智康



第6次武豊町総合計画について（答申）

令和2年2月5日付け武企発第1453号で諮問のありました第6次武豊町総合計画（案）について、本審議会で慎重に審議した結果、これを妥当と認め次の意見を付して答申します。

併せて、計画が着実に推進されることを要望します。

記

- 1 人口減少社会、超高齢社会が進展する中、子育て世帯のニーズを的確に捉え保育サービス、学校教育の充実を図ること。とりわけ子育て世代にとって妊娠・出産・子育て支援の切れ目のない環境づくりを進め、新しい住民の受け入れに繋がる施策を戦略的に推進すること。

また、人生100年時代を見据えすべての住民にとって暮らしやすい町として生涯学習、スポーツ、文化活動等生涯にわたって活躍できる場づくりの推進を図ること。

- 2 住民、地域、企業、団体、行政において協働のまちづくりをさらに推進するため、担い手を育成するとともにそれぞれがコミュニケーションをとりながら、新たな協働の関係を構築し、協働意識の醸成、協働の取組を一層促進するための環境づくりに努めること。

また、地域防災では南海トラフ地震の切迫性が指摘される中、公助はもとより地域における共助、自助の適切な役割のもと互いに連携する地域をめざし、自主防災の推進を図ること。

2-3 武豊町総合計画審議会 諮問・答申

〈答申〉

3 新型コロナウイルス等の新しい感染症の拡大防止や集中豪雨等の未曾有の災害に対して事態に即した措置を講じることができるよう事前の対策を図り、行政施策の推進を図ること。

また、「新しい生活様式」が示すような感染症を防ぐための対策を行政施策へ定着させ平時からの対策を講じること。

4 まちの将来像「心つなぎ みんなでつくる スマイルタウン」の具現化に繋がる、重点施策方針の取組にあたっては十分な庁舎内共有を図り、スマイルタウン（しあわせのまち）を着実に推進すること。

また、武豊町版SDGsの推進にあたっては、まちの将来像を意識した自治体の役割を理解し、SDGsの基本理念である「誰一人取り残さない、持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現」に向け取り組むこと。

5 計画の推進にあたっては、成果指標を活用し計画の進行管理を進め、業務の継続的な改善と効率性の向上を図り、より効果的な指標の設定について研鑽に努めるとともに施策及び重点施策方針の評価に取り組むこと。

また、毎年度の実施計画では取組を一般に公表することで周知を図る他、総合計画の進行管理状況やその内容を様々な機会を捉えて住民にわかりやすく伝えること。



3 住民参画

3-1 意識調査

調査の目的、対象、方法、期間、回収状況は以下の通りです。

① 町民意識調査	
目的	・町の住みごち、今後の居住意向、幸福度、行政施策に対する評価等について、住民の意向を把握
対象	・町在住の15歳以上の住民から無作為抽出した3,000人
方法	・郵送による配布・回収
期間	・平成30年11月19日に郵送にて配布し、12月7日を返信期限として回収
回収	・配布数 3,000票 有効回収数 1,318票 有効回収率 43.9%
② 中学生意識調査	
目的	・町の住みごち、今後の居住意向、幸福度、家庭や学校での生活について、中学生の意向を把握
対象	・町内の中学校に在学する中学生(中学1・2年生 897人)
方法	・学校を通じて配布・回収
期間	・平成30年11月19日から配布し、12月10日までに回収
回収	・配布数 897票 有効回収数 862票 有効回収率 96.1%
③ 若者・子育て世代アンケート調査	
目的	・住まい、結婚、子育てについての現状・課題・行政への要望を把握
対象	・町内の18歳以上40歳未満の住民から無作為抽出した1,000人
方法	・郵送による配布・回収
期間	・平成30年11月19日に郵送にて配布し、12月7日を返信期限として回収
回収	・配布数 1,000票 有効回収数 323票 有効回収率 32.3%
④ 企業・事業所アンケート調査	
目的	・事業展開の現状や見通し、今後、行政から期待する支援等を把握
対象	・町内に立地する企業・事業所から無作為に抽出した500事業所
方法	・郵送による配布・回収
期間	・平成30年11月19日に郵送にて配布し、12月7日を返信期限として回収
回収	・配布数 500票 有効回収数 186票 有効回収率 37.2%
⑤ 来訪者Webアンケート調査	
目的	・武豊町以外に住む方に、武豊町を訪れる目的、武豊町のイメージ、武豊町が持つ魅力等の意向を把握
対象	・dポイントクラブ会員を対象とし、その中で半年の間に武豊町に来訪履歴のある愛知県在住者
方法	・Web上でのアンケート
期間	・平成30年12月21日より調査開始し、平成31年1月4日に終了(調査を開始し、目標回収数(1,000)が達成した時点で終了した)
回収	・回収数 1,020票

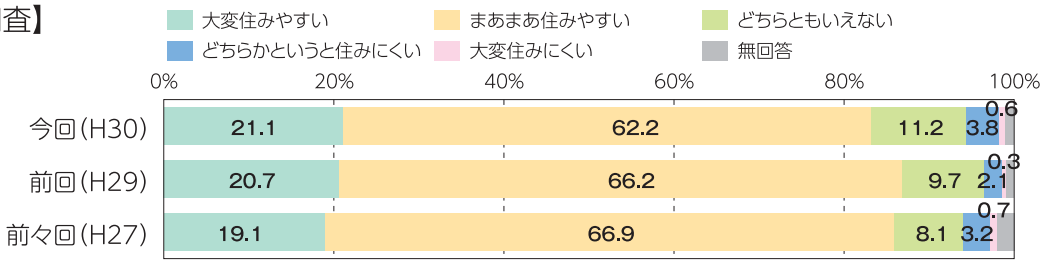
(1) 町の暮らしやすさ

●町の住みごころは、いずれの調査でも回答者の8割以上が『住みやすい』と評価しています。

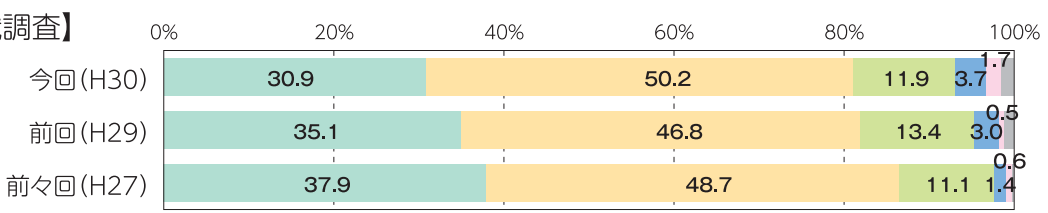
- ・町の住みごころについては、町民意識調査、中学生意識調査、若者・子育て世代アンケート調査のいずれの調査でも、8割以上の回答者が『住みやすい(「大変住みやすい」+「まあまあ住みやすい」)』と評価しています。
- ・中学生意識調査、若者・子育て世代アンケート調査では前回(2017年(平成29年))調査、前々回(2015年(平成27年))調査と比較すると若干の低下傾向がみられます。

図表-1 住みごころ(過去調査との比較)

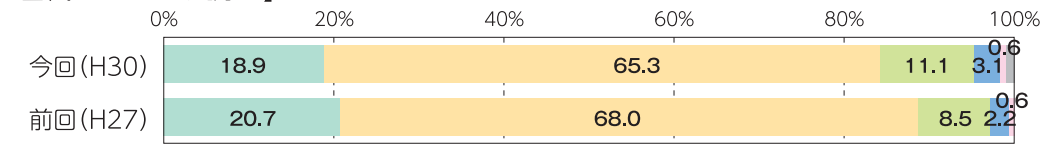
【町民意識調査】



【中学生意識調査】



【若者・子育て世代アンケート調査】



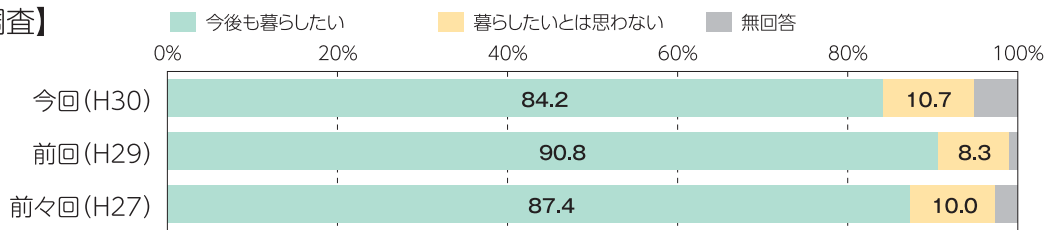
※若者・子育て世代アンケート調査は2017年(平成29年)は未実施。

●今後の居住意向は、町民意識調査では8割以上が『今後も暮らしたい』と回答していますが、中学生や若者・子育て世代ではその割合は低下する傾向を示しています。

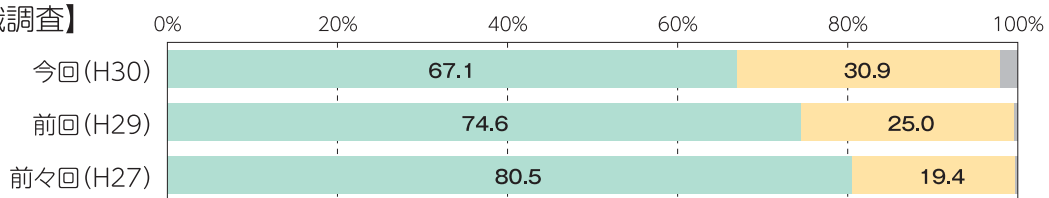
- ・今後の居住意向については、「今後も暮らしたい」の割合は町民意識調査では8割を超える高い値を堅持しています。
- ・中学生意識調査では「今後も暮らしたい」は前々回(2015年(平成27年))から調査ごとに6~7ポイント低下しています。また、若者・子育て世代アンケート調査でも約7ポイント低下しています。

図表-2 今後の居住意向(過去調査との比較)

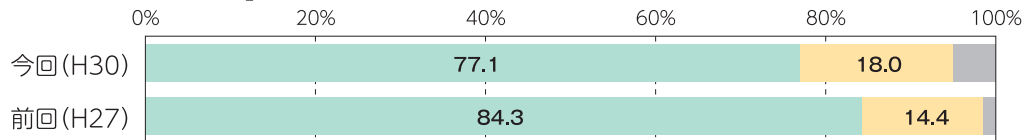
【町民意識調査】



【中学生意識調査】



【若者・子育て世代アンケート調査】



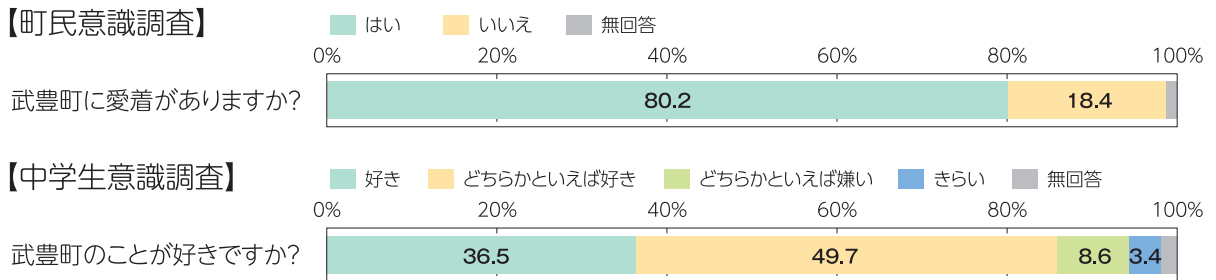
※若者・子育て世代アンケート調査は2017年(平成29年)は未実施。

(2) 町への愛着、町の魅力

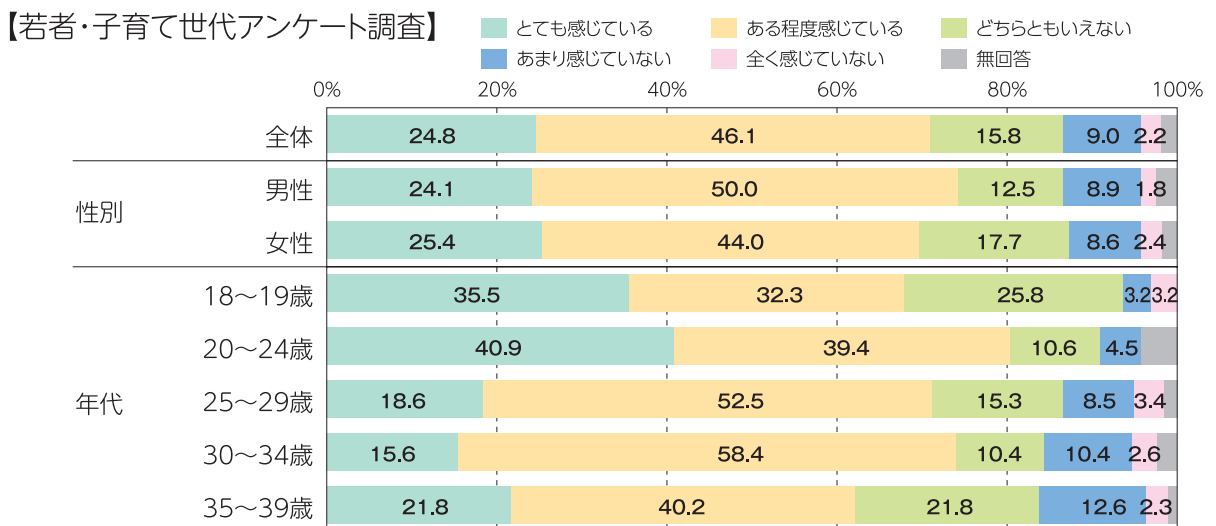
●住民の多くは町に愛着を持っています。

- ・町民意識調査では、8割以上が「武豊町に愛着がある」と回答しています。また、中学生意識調査でも、8割以上が『武豊町のことが好き(「好き」+「どちらかといえば好き」)』と回答しています。
- ・若者・子育て世代アンケート調査では、約7割が武豊町への愛着や親しみを『感じている(「とても感じている」+「ある程度感じている」)』と回答しており、20～24歳では8割以上が『感じている』と回答しています。このように住民の多くは町への愛着を持っていることがわかります。

図表-3 町への愛着

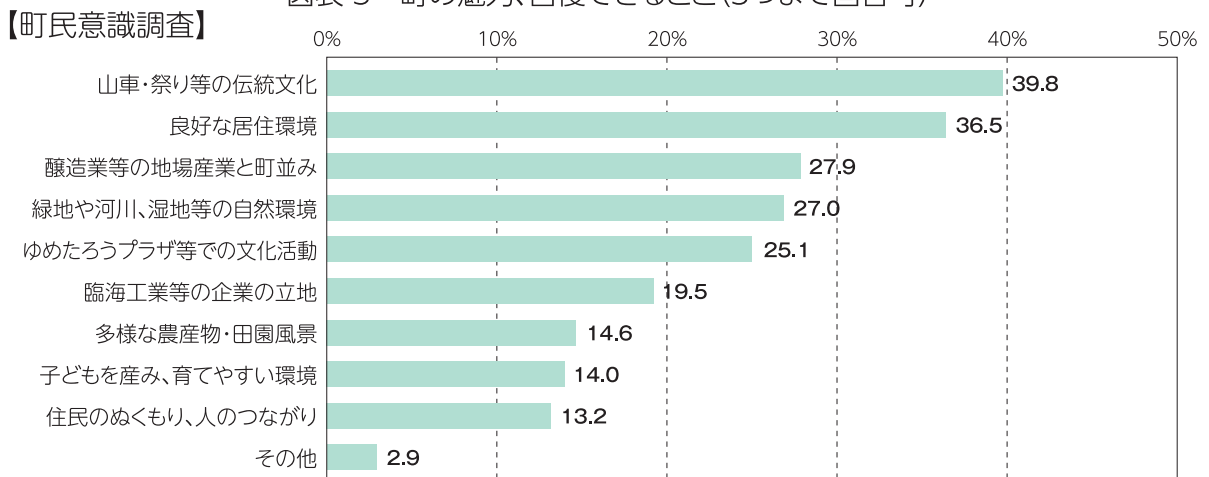


図表-4 町への愛着や親しみ



- ・武豊町の魅力、自慢できると思うことについては、「山車・祭り等の伝統文化」、「良好な居住環境」の2つが3割以上の回答を得ています。「山車・祭り等の伝統文化」はすべての年代において高い回答となっています。

図表-5 町の魅力、自慢できること(3つまで回答可)



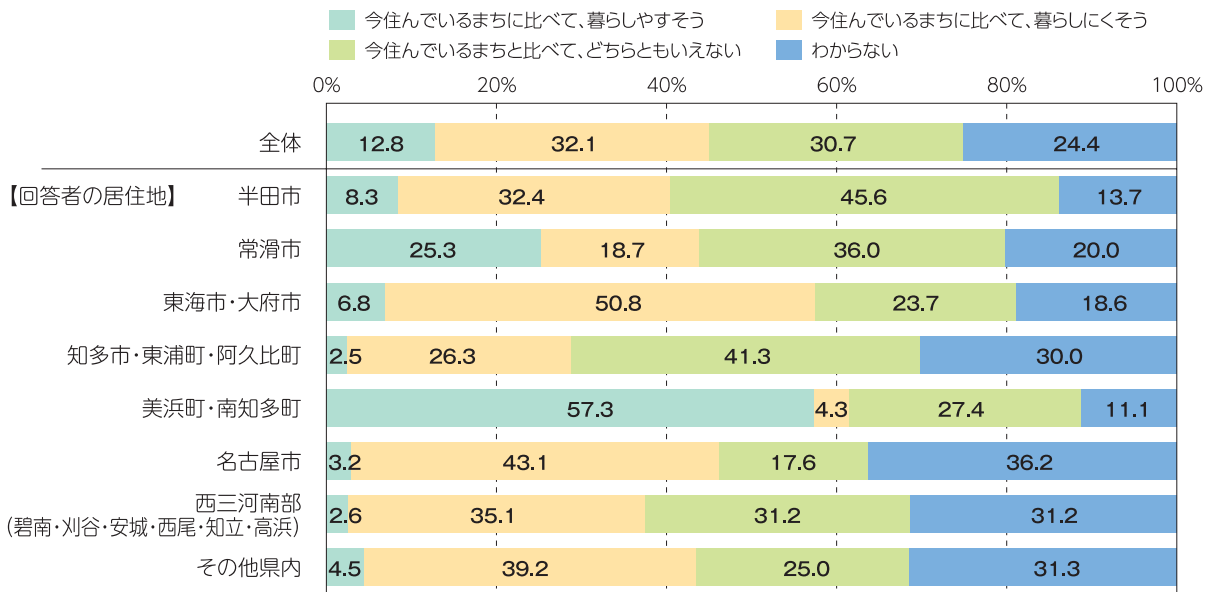
(3) 町外から見た武豊町のイメージ

●常滑市、美浜町、南知多町から見ると、武豊町の暮らしは「暮らしやすそう」が多くなっています。

・今住んでいる市町と比べたときの武豊町の暮らしやすさについては、「どちらともいえない」や「わからない」が半数以上を占めるものの、「暮らしやすそう」より「暮らしにくそう」の方が多くなっています。なお、常滑市、美浜町、南知多町では「暮らしやすそう」が多くなっています。

図表-6 居住地別武豊町の暮らしやすさ

【来訪者Webアンケート調査】



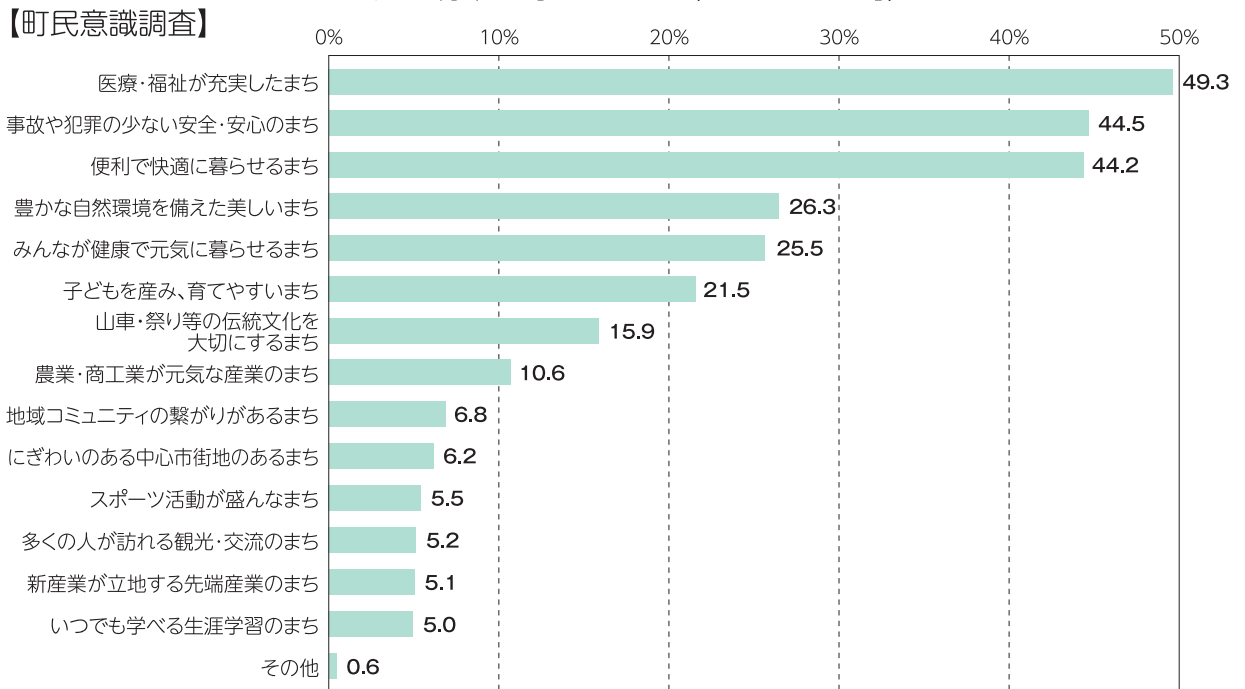
※端数調整の関係で、構成比の合計が100%にならないところがある。

(4) 今後のまちづくり

- 将来の町のイメージとしては、「医療・福祉」、「安全・安心」、「便利で快適な暮らし」を望む意見が多く寄せられています。
- 今後の人口減少社会に対応するためには、「若者の定着」、「子育て世代の定着」が必要で、若者や子育て世代からは、「子育てしながら働ける職場環境」や「保育サービスの充実」等への取組が望まれています。

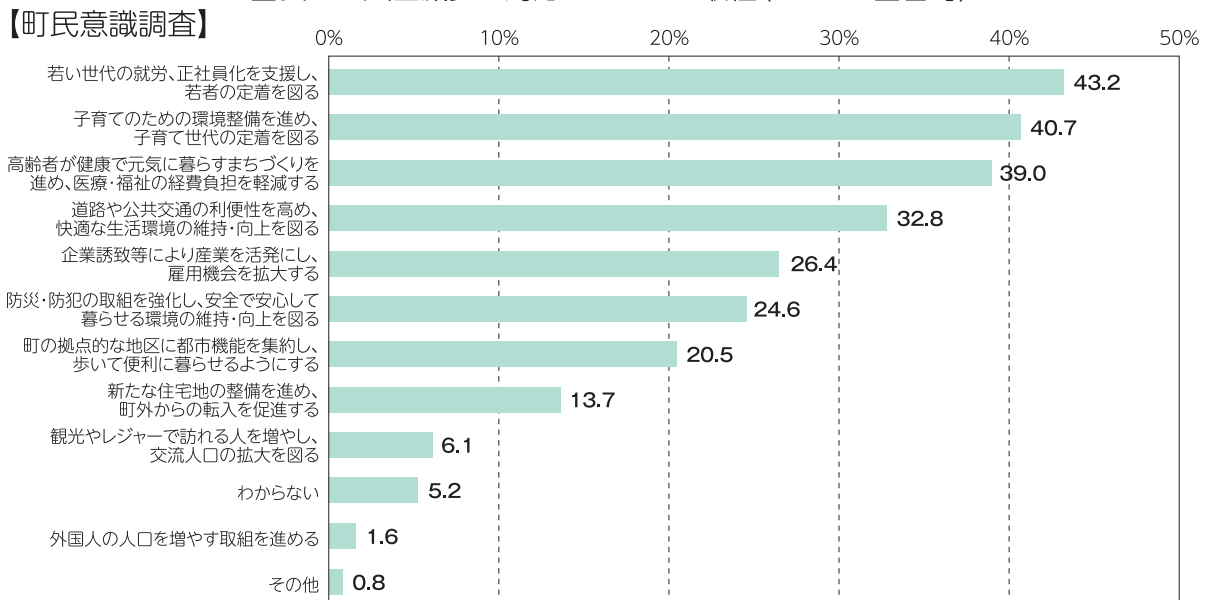
・将来の町のイメージについては、「医療・福祉が充実したまち」、「事故や犯罪の少ない安全・安心のまち」、「便利で快適に暮らせるまち」の3つが4割を超える高い回答を得ています。

図表-7 将来の町のイメージ(3つまで回答可)



・人口減少社会に対応していくために重要となる取組としては、「若い世代の就労、正社員化を支援し、若者の定着を図る」、「子育てのための環境整備を進め、子育て世代の定着を図る」、「高齢者が健康で元気に暮らすまちづくりを進め、医療・福祉の経費負担を軽減する」の3つが概ね4割前後の回答を得ています。

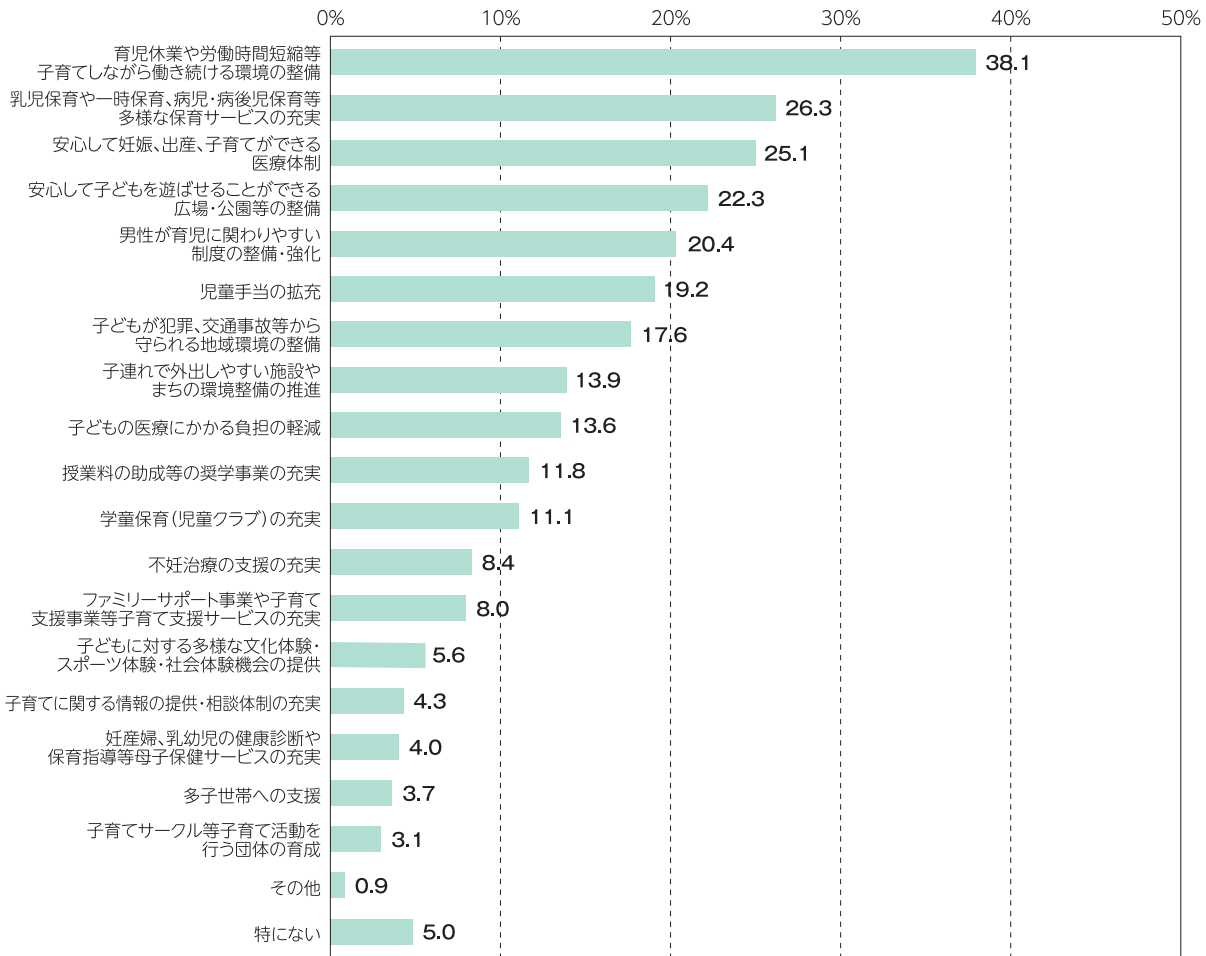
図表-8 人口減少に対応するための取組(3つまで回答可)



・若者・子育て世代アンケート調査でも、今後力を入れるべきこととしては、子育てしながら働ける職場環境、保育サービス、医療体制、公園整備等が求められています。

図表-9 子育てしやすいまちと誇れるようにするための取組(3つまで回答可)

【若者・子育て世代アンケート調査】



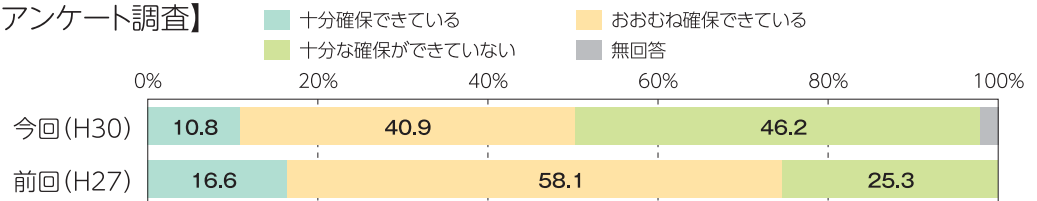
(5) 企業・事業所の動向、今後の展望

●人材が十分に確保できていないと回答する事業所が増加しており、今後の展望を考える上でも「人件費コスト」が懸念となっている様子がうかがえます。「人材確保や人材育成に関する情報提供や支援の充実」が求められています。

・人材確保について「十分な確保ができていない」が半数近くを占めており、従業員の確保を考えている事業所が増えています。

図表-10 人材確保の見通し(前回調査比較)

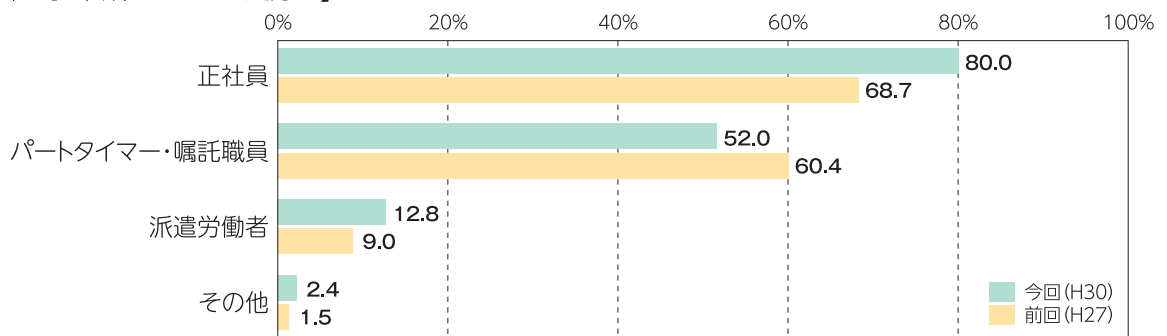
【企業・事業所アンケート調査】



・従業員増を考える事業所では、正規労働者を確保したいと考える事業所が増えています。

図表-11 増加したい人材の勤務形態(前回調査比較)

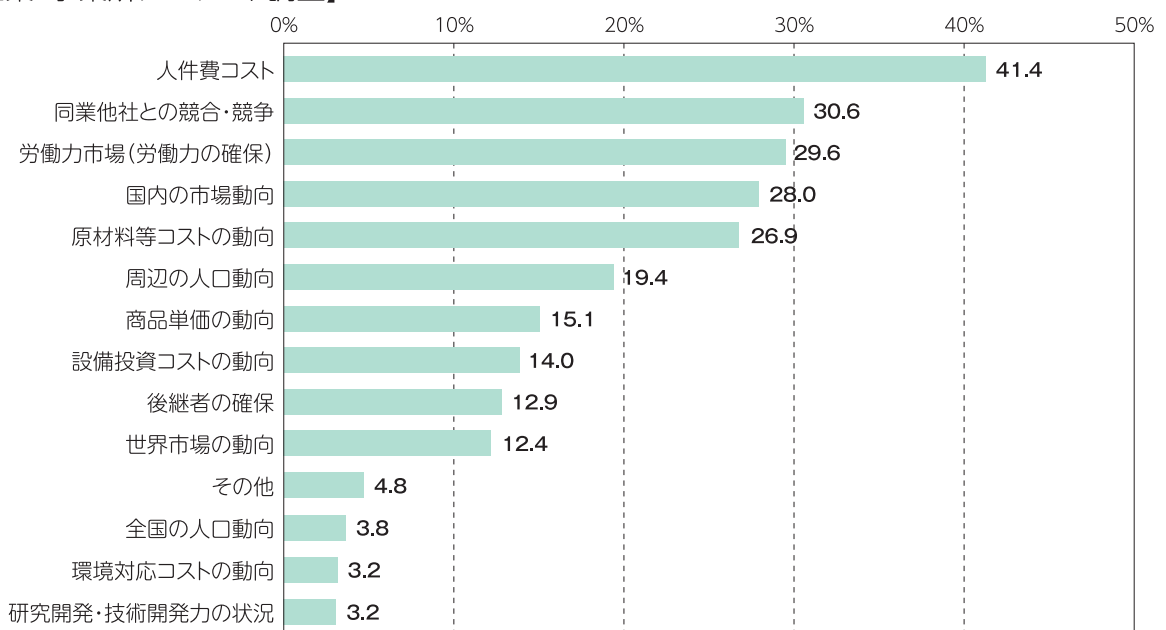
【企業・事業所アンケート調査】



・今後の業績の展望を考える上で大きな影響を受けるとされる要因としては、「人件費コスト」が最も多くなっています。

図表-12 大きな影響を受けるとされる要因(3つまで回答可)

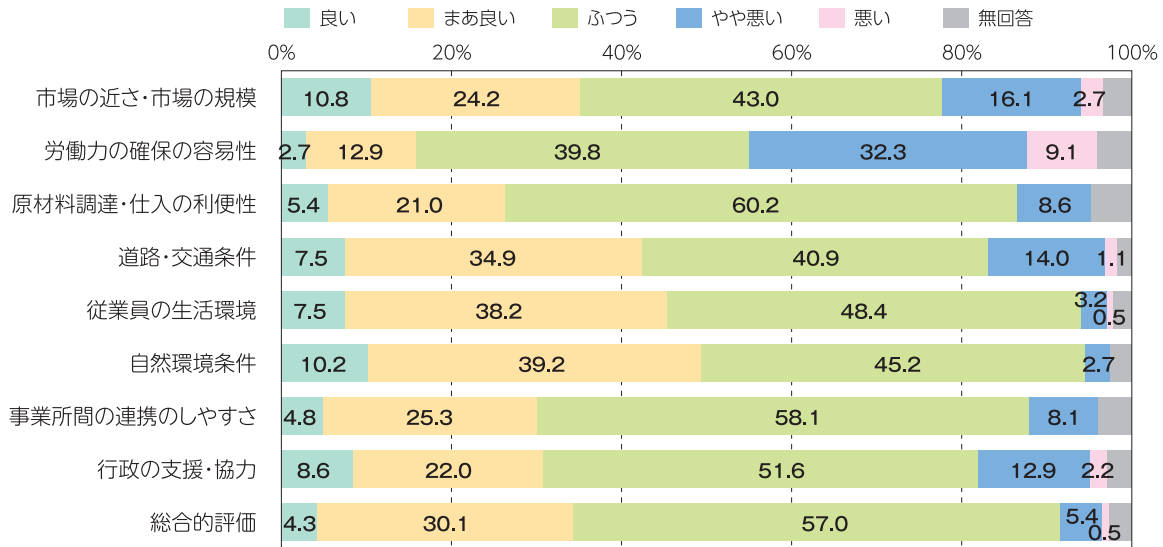
【企業・事業所アンケート調査】



・立地場所に対する評価としては、労働力を確保することが難しい場所だと評価されています。

図表-13 事業所の立地場所としての評価

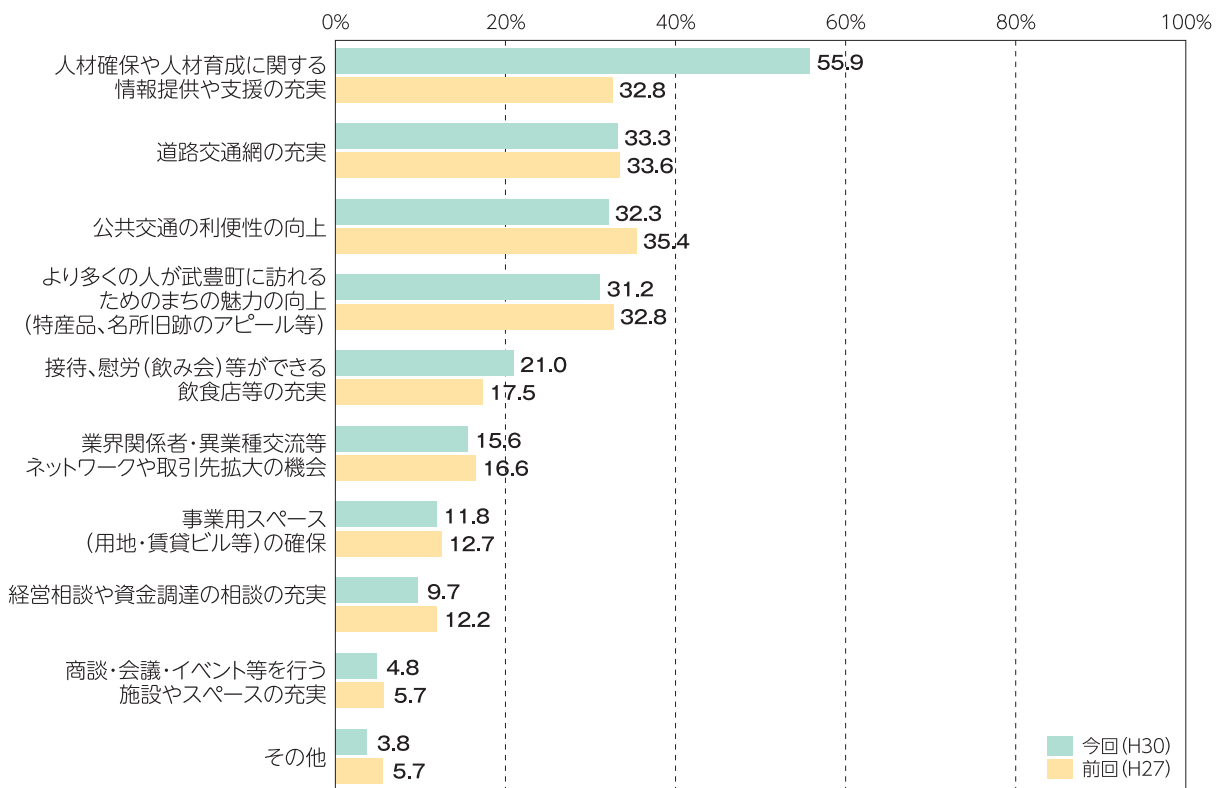
【企業・事業所アンケート調査】



・今後のビジネス展開を行うために必要なこととしては、「人材確保や人材育成に関する情報提供や支援の充実」が強く求められています。

図表-14 今後のビジネス展開を行うために必要なこと(前回調査比較)(あてはまるものすべてに回答)

【企業・事業所アンケート調査】



3-2 団体ヒアリング

町の特性分析、課題の整理を行うにあたって、子育て、福祉、産業、農業、観光、環境等の各分野で活動されている各種団体を対象に、活動内容や今後の活動意向を把握するため、団体ヒアリングを行いました。

開催日時	分野	ヒアリング団体
平成31年(2019年) 1月30日(水)	環境美化	明るい社会づくり運動武豊 あじさいの町作り推進委員会
	子育て支援・男女共同参画	NPO法人Smiley Dream
	産業	武豊町商工会
	農業	武豊町農業委員会
平成31年(2019年) 2月12日(火)	芸術・文化振興	NPO法人武豊文化創造協会(NPOたけとよ)
		舞台芸術企画ゆめっぴ
平成31年(2019年) 2月13日(水)	障がい者福祉・高齢者福祉	NPO法人ゆめじろう
		NPO法人ほがらか企画
		NPO法人PakaPaka
	観光	武豊町観光ガイドボランティア協会
	スポーツ振興・健康づくり	NPO法人ゆめフルたけとよスポーツクラブ
	防災	武豊町防災ボランティアの会

3-3 地区別懇談会

計画策定の参考とするために、地域が抱える課題(地域で困っていること)や今後の具体的な施策・事業についての要望やアイデアを把握するために、4つの小学校区ごとに地区別懇談会を開催しました。

開催日時	小学校区・参加人数
令和元年(2019年)10月23日(水) 19:00~20:30	富貴小学校区 参加人数23人
令和元年(2019年)10月24日(木) 19:00~20:30	衣浦小学校区 参加人数18人
令和元年(2019年)10月29日(火) 19:00~20:30	武豊小学校区 参加人数17人
令和元年(2019年)10月30日(水) 19:00~20:30	緑丘小学校区 参加人数25人



富貴小学校区



衣浦小学校区



武豊小学校区



緑丘小学校区

3-4 まちづくり会議

(1) 開催目的

第6次武豊町総合計画の策定に向け、将来のまちづくりの方向性を始め、子育てや教育、福祉、防災、にぎわい等、これからの武豊のまちづくりについて、住民と行政が一緒になって考える場として『まちづくり会議』を設置し、若者や子育て世代が住みたくなる武豊、将来も住み続けたくなる武豊に向けて様々な取り組むべきアイデア等を把握しました。

(2) まちづくり会議参加者

まちづくり会議の参加者は、住民から無作為に抽出した1,000人へ案内状を送付し、その中から応募いただいた方、広報紙での募集に対して応募いただいた方、各種関係団体から推薦していただいた方、そして役場の中堅職員の老若男女32人となっています。

敬称略

NO	区分	氏名	団体名・所属等
1	公募	坂口 幸男	
2	公募	出口 晋	
3	公募	武内 裕樹	
4	公募	鳥本 靖之	
5	公募	前田 英登	
6	公募	宮上 英善	
7	公募	犬塚 久夫	
8	公募	藤野 由香梨	
9	公募	花田 鮎美	
10	公募	明壁 恭子	
11	公募	中山 真人	
12	公募	前田 和彦	
13	公募	中村 謙一	
14	公募	丸山 弘貴	
15	公募	小林 映里	
16	公募	天野 ひとみ	
17	団体推薦	荒木 彩乃	NPO法人Smiley Dream
18	団体推薦	桑山 雅規	武豊町商工会
19	団体推薦	高木 正博	NPO法人武豊文化創造協会(NPOたけとよ)
20	団体推薦	山本 豊(入山 倍久)	あいち知多農業協同組合
21	団体推薦	藤田 綾乃	武豊町社会福祉協議会
22	団体推薦	栗本 孝成	武豊町防災ボランティアの会
23	町職員(策定部会委員)	永田 誠	防災交通課
24	町職員(策定部会委員)	中川 久嗣	福祉課
25	町職員(策定部会委員)	池田 雅史	子育て支援課
26	町職員(策定部会委員)	竹内 京子	健康課
27	町職員(策定部会委員)	浅野 啓	環境課
28	町職員(策定部会委員)	森 保樹	産業課
29	町職員(策定部会委員)	榊原 利幸	都市計画課
30	町職員(策定部会委員)	青木 隆	町民会館
31	町職員(策定部会委員)	福谷 裕	企画政策課
32	町職員(策定部会委員)	上米良 政希	企画政策課

()内は前任者

(3) 開催実績

回	開催日時	テーマ	検討内容
第1回	令和元年(2019年) 11月16日(土) 10:00~12:00	10年後の武豊町の理想のまちと暮らしを考えよう!	・10年後のまちへの期待と不安 ・10年後の理想のまちや暮らしの検討
第2回	令和元年(2019年) 12月21日(土) 10:00~12:00	分野別のまちづくりの取組アイデアを考えよう!	・「都市環境」、「子ども子育て」、「安全・安心」、「環境」のグループに分かれ、取組内容、重点内容の検討
第3回	令和2年(2020年) 1月18日(土) 10:00~12:00	分野別のまちづくりの取組アイデアを考えよう!その2	・「学び」、「健康・福祉」、「産業・交流」、「まちづくり・地域経営」のグループに分かれ、取組内容、重点内容の検討
第4回	令和2年(2020年) 2月15日(土) 10:00~12:00	重点プロジェクトを考えよう!	・「①子どもの学びプロジェクト」、 「②移住・交流促進プロジェクト」、 「③起業・雇用創出、産業振興に向けた新たな特産品開発プロジェクト」、 「④シニア活躍プロジェクト」のグループに分かれ、プロジェクト内容の検討
第5回	令和2年(2020年) 5月14日(木) ~21日(木)	書面会議(新型コロナウイルス感染拡大予防のために変更対応)	・これまでのまちづくり会議の結果を踏まえて作成した重点方針(案)に対する意見集約



3-5 パブリックコメント

区分	概要
募集案内	広報紙(令和2年(2020年)8月1・15日合併号)及び町ホームページ
意見募集期間	令和2年(2020年)8月19日(水)~9月18日(金)
資料の閲覧方法	役場企画政策課窓口、町ホームページ
募集方法	郵送、FAX、メールまたは役場企画政策課窓口へ直接提出
募集結果	1名、1件

4 策定委員会

4-1 策定委員会委員

役職	氏名	役職	氏名
副町長	永田 尚	健康福祉部長	飯田 浩雅
教育長	加藤 雅也	生活経済部長	竹内 誠一
総務部長	木村 育夫	建設部長	犬塚 敏彦
企画部長	山田 晴市	教育部長	木村 孝士

4-2 策定委員会開催経緯

回	開催日時	検討内容
第1回	平成30年(2018年) 10月22日(月) 15:00~16:00	(1) 第6次武豊町総合計画策定方針について (2) 策定体制・策定スケジュールについて (3) 各種アンケート調査の実施について (4) 策定部会委員の推薦について
第2回	令和元年(2019年) 8月23日(金) 13:30~15:30	(1) 経過報告について ・策定部会 ・総合計画条例等 (2) 人口推計について (3) 町の主要課題について (4) 次期計画の体系について
第3回	令和2年(2020年) 1月23日(木) 13:30~14:50	(1) 総合計画策定フローについて (2) 経過報告について ・策定部会 ・団体ヒアリング ・地区別懇談会 ・まちづくり会議 (3) 基本構想(案)について (4) 基本計画(案)について
第4回	令和2年(2020年) 4月20日(月) 13:30~14:20	(1) 第1回総合計画審議会からのご意見・ご提案への回答について (2) 基本構想(案)の変更点について ・土地利用のゾーニング ・計画体系の変更 (3) 重点プロジェクト(案)について (4) 基本計画(案)について
第5回	令和2年(2020年) 5月20日(水) 13:30~14:20	(1) 第2回総合計画審議会からのご意見・ご提案への回答について (2) 町議員からのご意見・ご提案への回答について (3) まちの未来図について (4) 基本構想(案)の前回からの変更点について ・まちの将来像 ・計画の愛称 ・土地利用のゾーニング ・計画の体系 等 (5) 重点施策方針について (6) 基本計画(案)について
第6回	令和2年(2020年) 6月23日(火) 13:30~14:05	(1) まちの未来図(案)について (2) 基本構想(案)・基本計画(案)について ・計画の愛称 ・土地利用のゾーニング (3) 重点施策方針(案)について (4) 武豊町版SDGs(案)について (5) 計画の推進(PDCAサイクル)について
第7回	令和2年(2020年) 7月21日(火) 13:30~14:15	(1) 第3回総合計画審議会からのご意見・ご提案への回答について (2) 第6次武豊町総合計画(案)について
第8回	令和2年(2020年) 10月5日(月) 13:30~14:30	(1) まちの未来図(案)について (2) 第4回総合計画審議会からのご意見・ご提案への回答について (3) パブリックコメントの実施結果について (4) 第6次武豊町総合計画答申(案)について

5 策定部会

5-1 策定部会委員

部	課	役職	氏名
総務部	総務課	主事 (主査)	藤倉 究光 (黒野 雅直)
	防災交通課	副主幹	永田 誠
	税務課	主査	鈴木 雄一
	収納課	副主幹	栗田 典明
企画部	秘書広報課	副主幹	神田 勇
	企画政策課	主査	福谷 裕
	企画政策課	主事	上米良 政希
健康福祉部	保険医療課	副主幹	藤本 優二
	福祉課	副主幹	中川 久嗣
	子育て支援課	副主幹	池田 雅史
	健康課	副主幹 (副主幹)	高松 三沙子 (竹内 京子)
生活経済部	住民窓口課	主査	加古 育未
	環境課	主事	浅野 啓
	産業課	副主幹	森 保樹
建設部	土木課	主事 (主事)	江崎 誠 (堀田 雄基)
	都市計画課	副主幹 (課長補佐)	榊原 利幸 (森田 明男)
	上下水道課	主査 (主査)	西村 翠 (渡辺 竜二)
教育部	学校教育課	主査	松本 信太郎
	生涯学習課	歴史民俗資料館館長	山下 恵広
	町民会館	事務長補佐	青木 隆
	スポーツ課	主事 (主事)	石川 加奈子 (鈴木 麻美)
事務局	企画政策課	次長兼課長	近藤 千秋
		課長補佐	森田 光一
		主査	福谷 裕
		主事	上米良 政希
		主事	鈴木 麻美
		主事	高井 愛
		主事	山本 啓太

()内は前任者

5-2 策定部会開催経緯

回	開催日時	検討内容
第1回	令和元年(2019年) 5月9日(木) 13:30~15:30	(1) 第6次武豊町総合計画策定方針について (2) 策定体制・策定スケジュールについて (3) 計画策定に係るアンケート調査結果について (4) 策定部会の役割進め方について
第2回	令和元年(2019年) 5月21日(火) 13:30~15:30	(1) 第6次武豊町総合計画に向けた課題(町の主要課題)について ・第5次武豊町総合計画に示す『22のめざすべきまちの姿』単位での 主要課題について協議 ※3グループに分かれてのグループワーク
第3回	令和元年(2019年) 6月19日(水) 13:30~15:30	Aグループ 総務部、企画部 7人 Bグループ 健康福祉部、教育部 8人 Cグループ 生活経済部、建設部 6人 ※Bグループは7月2日(火)、Cグループは6月28日(金)にも協議
第4回	令和元年(2019年) 7月10日(水) 13:30~15:30	(1) 『22のめざすべきまちの姿』単位ごとの主要課題について ・グループワーク (2) データから見た本町の現状、町の主要課題(案)の整理について
第5回	令和元年(2019年) 8月2日(金) 13:30~15:30	(1) 作業報告 ・町の主要課題とりまとめシートについて ・人口フレームの算定結果について (2) 施策の体系(試案)について (3) まちの将来像について ・委員から案を募集
第6回	令和元年(2019年) 9月19日(木) 13:30~15:30	(1) 策定委員会の進捗報告 ・町の主要課題(案)、施策の体系(案)について (2) まちの将来像について ・全体での意見交換とグループワーク (3) 基本計画の原案作成について
第7回	令和元年(2019年) 10月25日(金) 13:30~15:30	(1) まちの将来像について ・まちの将来像(案)について (2) 施策の体系について (3) 分野別計画について ※施策の体系の内容を確認した後、委員が分担し、分野別計画原案を作成 11月18日(月)までに原案作成
—	令和元年(2019年) 11月19日(火)~12月3日(火)	分野別計画原案について、グループ単位で内容を精査 Aグループ……11月19日(火)、12月3日(火) Bグループ……11月20日(水)、11月28日(木) Cグループ……11月19日(火)
—	令和2年(2020年) 2月12日(水)~2月20日(木)	分野別計画の素案について協議、内容の精査ならびに成果指標の検討 Aグループ……2月12日(水) Bグループ……2月19日(水) Cグループ……2月13日(木)、20日(木)
—	令和2年(2020年) 3月11日(水)~19日(木)	SDGsの17のゴールに該当する分野別計画の事業の取りまとめ ※庁舎内LANにて実施
—	令和2年(2020年) 4月17日(金)~21日(火)	重点施策方針に該当する分野別計画の事業の取りまとめ ※庁舎内LANにて実施
第8回	令和2年(2020年) 4月22日(水) 14:00~16:00	(1) 総合計画策定作業の進捗状況について(経過報告) ・基本構想(案)、基本計画(案) (2) 重点施策方針について ・重点施策方針の柱立てについて ・重点施策方針の対象となる施策・事業について
—	令和2年(2020年) 6月3日(水)~9日(火)	SDGsの17のゴールに該当する分野別計画の施策方針の取りまとめ ※庁舎内LANにて実施

6 成果指標一覧

6-1 重点施策方針 成果指標

指標	説明	現状値 (2018年)	中間目標 (2025年)	最終目標 (2030年)
重点施策方針1 住みよいから、住みたいまちへ				
人口の社会増	各年度の人口の社会動態 (転入者数-転出者数)	169人	170人 (現状維持)	170人 (現状維持)
重点施策方針2 子どもの学び・育ちを応援するまちへ				
出生数	各年度の出生数	347人	320人	320人
若者・子育て世代からみた、 町の住みごころ	若者・子育て世代アンケート調査で「大変住み やすい」または「まあまあ住みやすい」と回答した割合	84.2%	85%	86%
重点施策方針3 みんなが元気に活動・活躍するまちへ				
生きがいを感じている 住民の割合	町民意識調査で、「生きがいにしているものが ありますか」の問いに『はい』と回答した割合	65.9%	68%	70%
まちづくり活動への参加率	町民意識調査で、「地域の行事やお祭りに参加 していますか」の問いに『はい』と回答した割合	43.5%	47%	50%

6-2 分野別計画 成果指標

分野1 都市環境

指標	説明	現状値 (2018年)	中間目標 (2025年)	最終目標 (2030年)
1-1 市街地・住環境				
町の中心部の魅力や 活気への満足度	町民意識調査で「中心市街地がにぎやかに活 気づいている」ことに『満足』または『やや満足』 と回答した割合	11.3%	15%	20%
住環境への満足度	町民意識調査で「暮らしやすい住環境が整っ ている」ことに『満足』または『やや満足』と回答した割合	35.3%	40%	45%
公園を利用する人の割合	町民意識調査で「近所の公園や児童遊園を利用 している」と回答した割合	25.8%	28%	30%
1-2 交通基盤				
車での移動しやすさの満足度	町民意識調査で「幹線道路が整備され車で移 動しやすい」ことに『満足』または『やや満足』と 回答した割合	31.0%	35%	40%
都市計画道路の整備率	町内における都市計画道路の整備が完了して いる延長の割合	55.5%	60%	65%
コミュニティバスの利用者数	1年間でコミュニティバスを利用した人数	61,617 人/年	66,000 人/年	67,000 人/年
1-3 上下水道				
下水道事業債年度末 未償還残高	下水道施設の建設改良のために発行した事業 債の残高	66.57億円	40億円	35億円
重要給水施設までの水道 基幹管路の耐震化率	耐震管路総延長(km)÷管路総延長(km)(重 要給水施設までの水道基幹管路)×100	58.5%	87%	100%
生活排水処理率	基準日(3月31日)時点の、下水道・合併処理浄 化槽の汚水処理施設の整備人口(2019年まで は農業集落排水施設を含む)÷行政区内人口×100	76.4%	80%	82%

分野2 子ども

指 標	説 明	現状値 (2018年)	中間目標 (2025年)	最終目標 (2030年)
2-1 出産・子育て				
子育てしやすさの満足度	町民意識調査で「子育てがしやすい」ことに『満足』または『やや満足』と回答した割合	22.2%	25%	30%
子育て支援センター 延べ利用者数	当該年度における、1年間の子育て支援センターの利用者数	20,698 人/年	24,000 人/年	24,000 人/年

分野3 学び

指 標	説 明	現状値 (2018年)	中間目標 (2025年)	最終目標 (2030年)
3-1 学校教育				
不登校児童人数(小学校)	武豊町における生徒指導上の諸問題調査において年間30日以上欠席した児童数	21人	18人	15人
不登校生徒人数(中学校)	武豊町における生徒指導上の諸問題調査において年間30日以上欠席した生徒数	57人	50人	45人
ボランティア活動への意欲	中学生意識調査で「地域をよくするための活動(区の活動やボランティア団体の活動)に参加してみたい」と回答した割合	44.2%	47%	50%
3-2 生涯学習				
生涯学習事業の参加者数	1年間の講座、イベントの参加者数	24,887 人/年	25,500 人/年	26,000 人/年
趣味や教養、スポーツ活動を楽しんでいる住民の割合	町民意識調査で「趣味や教養、スポーツ等の活動を楽しんでいる」と回答した割合	52.9%	54%	55%
図書館の利用者数	1年間の利用者数	198,086 人/年	199,000 人/年	200,000 人/年
中央公民館の利用者数	1年間の利用者数	90,754 人/年	91,000 人/年	91,500 人/年
3-3 スポーツ				
ゆめたろうスマイルマラソン 申込者数	イベントに申込んだ人数	3,283人	3,400人	3,500人
スポーツ施設(総合体育館、 運動公園、弓道場、緑地 グラウンド)の利用者数	1年間でスポーツ施設を利用した人数	204,058 人/年	208,100 人/年	212,300 人/年
趣味や教養、スポーツ活動を楽しんでいる住民の割合	町民意識調査で「趣味や教養、スポーツ等の活動を楽しんでいる」と回答した割合	52.9%	54%	55%
3-4 文化芸術				
文化振興事業の参加者数	町民会館での1年間の文化振興事業参加者数	16,354 人/年	16,900 人/年	17,400 人/年
文化協会加入者数	文化協会へ加入している会員数	515人	520人	525人
町民会館利用率	町民会館全体の1年間の利用率	51.4%	55%	60%
芸術や文化に触れている 人の割合	町民意識調査で「芸術や文化に触れている」に『はい』と回答した割合	34.4%	37%	40%

分野4 健康・福祉

指標	説明	現状値 (2018年)	中間目標 (2025年)	最終目標 (2030年)
4-1 健康・医療				
健康づくりの機会や対応への満足度	町民意識調査で、「健康づくりの機会や対応が充実している」ことに『満足』または『やや満足』と回答した割合	22.2%	26%	30%
特定健康診査の受診率	国民健康保険加入者40歳から74歳(特定健診対象者)のうち、特定健診を受診した割合	56.6%	61%	65%
病院や休日診療等の受診しやすさへの満足度	町民意識調査で、「病院や休日診療等を受診しやすい」ことに『満足』または『やや満足』と回答した割合	23.6%	27%	30%
4-2 地域福祉				
ボランティア活動への参加率	福祉課の実施したアンケート調査で「ボランティア活動」について『参加している』と回答した割合	23.0% (2016年)	30% (2021年)	35% (2026年)
地域で支え合う風土があることへの満足度	町民意識調査で「近所で共に助け合い、支え合う関わりがある」ことに『満足』または『やや満足』と回答した割合	20.7%	25%	30%
4-3 高齢者福祉				
第1号被保険者要支援・要介護認定率	第1号被保険者認定者数÷高齢者数×100 ※施策により上昇を抑える	13.0%	17.7%	18%
ボランティアに参加している高齢者の割合	福祉課の実施した健康とくらしの調査で「ボランティアグループへの参加」に『月1回以上』と回答した割合	13.1% (2016年)	15%	20% (2028年)
4-4 障がい者福祉				
障がいのある方にとっての暮らしやすさ	福祉課の実施したアンケート調査(障がい者用、障がい児用合算)で「武豊町が障がいのある方にとって暮らしやすいまち」かどうかについて『暮らしやすいまちだと思う』と回答した割合	70.4% (2017年)	75% (2023年)	77% (2029年)
障害者差別解消法の認知度	福祉課の実施したアンケート調査(障がい者用、障がい児用、町民向け合算)で「障害者差別解消法」について『知っている』と回答した割合	20.9% (2017年)	34% (2023年)	40% (2029年)

分野5 安全・安心

指標	説明	現状値 (2018年)	中間目標 (2025年)	最終目標 (2030年)
5-1 防災				
武豊町一斉情報配信サービス登録件数	メールサービス登録者数	5,500件	6,000件	7,000件
災害への備えができていない住民の割合	町民意識調査で「普段から災害に備えている」と回答した割合	50.2%	55%	60%
木造住宅耐震診断実施戸数	当該年度までに「民間木造住宅耐震診断事業」により、耐震診断を実施した木造住宅の総戸数	1,400戸	1,750戸	2,000戸
5-2 防犯・交通安全				
町道の歩道設置延長	基準日(4月1日)における歩道の総延長	39km	41km	43km
犯罪発生件数	当該年の1年間の刑法犯発生件数	223件/年	165件/年	150件/年
交通事故発生件数(人身事故)	当該年の1年間の交通事故発生件数(人身事故)	145件/年	120件/年	100件/年
飲酒運転検挙者数	当該年の1年間の飲酒運転検挙者数	11人/年	5人/年	0人/年

分野6 産業・交流

指 標	説 明	現状値 (2018年)	中間目標 (2025年)	最終目標 (2030年)
6-1 産業				
認定新規就農者数	新規就農者で青年等就農計画の認定を受けたのべ人数	8人	15人	25人
製造品出荷額等	工業統計調査の製造品出荷額等 (4人以上の事業所)	2,705億円 (2018年)	2,760億円 (2024年)	2,820億円 (2029年)
製造業の従事者数	工業統計調査の従業者数 (4人以上の事業所)	6,916人 (2018年)	7,060人 (2024年)	7,200人 (2029年)
6-2 観光・交流				
町の中心部の魅力や 活気への満足度	町民意識調査で「中心市街地がにぎやかに活 気づいている」ことに『満足』または『やや満足』 と回答した割合	11.3%	15%	20%
鉄道駅の年間乗車人数 (定期券利用を除く)	JR武豊駅、名鉄上ヶ駅、名鉄知多武豊駅、名鉄 富貴駅における年間乗車人数のうち、定期券利 用者を除いた人数	53.7万 人/年	54万 人/年	55万 人/年
まちの駅「味の蔵たけとよ」の 年間購買客数	まちの駅「味の蔵たけとよ」で物品を購入した 人数	88,785 人/年	100,000 人/年	105,000 人/年

分野7 環境

指 標	説 明	現状値 (2018年)	中間目標 (2025年)	最終目標 (2030年)
7-1 自然環境				
自然を身近に感じられる ことへの満足度	町民意識調査で「水や緑等の自然を身近に感じ られる」ことに『満足』または『やや満足』と回答 した割合	38.3%	40%	45%
河川の水質	石川・堀川・新川でのBOD ^{*31} の平均	3.0mg/L	2.9mg/L	2.8mg/L
7-2 生活環境				
1人あたりの家庭系ごみ (資源含む)の排出量/日	家庭系ごみ総排出量(資源含む)/365日÷人口	800g	600g	550g
1人あたりの家庭系ごみ (資源除く)の排出量/日	家庭系ごみ総排出量(資源除く)/365日÷人口	533g	440g	400g

用語解説

*31 BOD(生物化学的酸素要求量)……135頁参照。

分野8 まちづくり・地域経営

指標	説明	現状値 (2018年)	中間目標 (2025年)	最終目標 (2030年)
8-1 住民活動・地域活動(住民協働)				
町政・まちづくりに 関心がある若い世代の割合	町民意識調査で「武豊町の町政・まちづくりに 関心がある」に回答した15歳から39歳のうち 『そう思う』または『ややそう思う』と回答した割 合	44.2%	50%	55%
地域活動に参加したい (これからも参加したい) 住民割合	町民意識調査で「地域活動(清掃、お祭り等)に 参加したい(これからも参加したい)」に『そう思 う』または『ややそう思う』と回答した割合	44.6%	48%	50%
ボランティア、NPO活動に 参加したい(これからも参加 したい)住民割合	町民意識調査で「ボランティア、NPO活動に参 加したい(これからも参加したい)」と回答した 割合	33.7%	37%	40%
8-2 相互理解(男女共同参画・多文化共生)				
男女共同参画への満足度	町民意識調査で「男女が差別なく参画できる社 会となっている」ことに『満足』または『やや満 足』と回答した割合	14.3%	18%	20%
異世代や外国人との 交流がある住民割合	町民意識調査で「他の世代の人や外国人と交 流したり、触れ合うことがある」と回答した割合	38.5%	45%	50%
8-3 タウンプロモーション				
町ホームページの 年間アクセス件数	当該年度における、1年間の町ホームページへ のアクセス総数	598,084 件/年	750,000 件/年	800,000 件/年
町に愛着を持っている 住民の割合	町民意識調査で「武豊町に愛着がある」に『は い』と回答した割合	80.2%	82%	85%
今後も武豊町で暮らしたいと 答えた中学生の割合	中学生意識調査で「今後も武豊町で暮らした い」と回答した割合	67.1%	75%	80%

分野9 行財政

指標	説明	現状値 (2018年)	中間目標 (2025年)	最終目標 (2030年)
9-1 行政運営				
町ホームページへの 新規記事投稿件数	1年間でホームページへ新規で投稿した記事 の件数	106件/年	200件/年	250件/年
住民意向の反映状況への 満足度	町民意識調査で「行政に町民の意向が反映さ れている」ことに『満足』または『やや満足』と回 答した割合	11.5%	13%	15%
行政サービスに対する 満足度	町民意識調査で「行政サービスが充実してい る」ことに『満足』または『やや満足』と回答した 割合	20.0%	25%	30%
9-2 財政運営				
実質公債費比率*15	当該年度における実質公債費比率(町の収入 に対する負債返済の割合)	1.0%	5%以内	5%以内

用語解説

*15 実質公債費比率……27頁参照。

7 総合計画の変遷

計画名称	策定年・計画期間	将来像・計画の愛称
第1次武豊町総合計画	1975年(昭和50年)策定※	明るく 住みよい 豊かな町づくり
第2次武豊町総合計画	1982年(昭和57年)策定	明るく 住みよい 豊かな町づくり
第3次武豊町総合計画	1990年度(平成2年度)～	明るく 住みよい 豊かなまちづくり ～TAK2001～
第4次武豊町総合計画	1998年度(平成10年度)～	心かよい 人が輝くまち 武豊 ～武豊ハートフルプラン～
第5次武豊町総合計画 (第5次武豊町総合計画 後期戦略プラン)	2008年度(平成20年度)～2020年度(令和2年度) (2015年度(平成27年度)～2020年度(令和2年度))	心つなぎ みんな輝くまち 武豊 ～たけとよ ゆめたろうプラン～
第6次武豊町総合計画	2021年度(令和3年度)～2030年度(令和12年度)	心つなぎ みんなでつくる スマイルタウン ～スマイルビジョンTAKETOYO～

※基本計画は1976年(昭和51年)策定

8 関連規定

8-1 武豊町総合計画条例

令和元年9月26日条例第5号

武豊町総合計画条例

(趣旨)

第1条 この条例は、総合的かつ計画的な町政の運営を図るための総合計画の策定について、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

(1) 総合計画 将来における本町のあるべき姿と進むべき方向についての基本的な指針であり、基本構想、基本計画及び実施計画からなるものをいう。

(2) 基本構想 本町の将来像及びそれを実現するためのまちづくりの目標を示すものをいう。

(3) 基本計画 基本構想を実現するための施策の基本的方向を示すものをいう。

(4) 実施計画 基本計画に基づく具体的事業を示すものをいう。

(総合計画の策定)

第3条 町長は、本町における総合的かつ計画的な町政の運営を図るため、総合計画を策定するものとする。

(総合計画審議会)

第4条 地方自治法(昭和22年法律第67号)第138条の4第3項の規定に基づき、町長の附属機関として、武豊町総合計画審議会(以下「審議会」という。)を置く。

2 前項に規定するもののほか、審議会の組織及び運営について必要な事項は、規則で定める。

(総合計画審議会への諮問)

第5条 町長は、総合計画を策定するときは、あらかじめ、前条に規定する武豊町総合計画審議会に諮問するものとする。

(議会の議決)

第6条 町長は、前条に規定する手続を経て、基本構想を策定し、又は変更しようとするときは、議会の議決を経なければならない。

(基本計画及び実施計画の策定)

第7条 町長は、基本構想に基づき、基本計画及び実施計画を策定するものとする。

(総合計画との整合性の確保)

第8条 個別の行政分野における施策の基本的な事項を定める計画を策定し、又は変更するに当たっては、総合計画との整合を図るものとする。

(公表)

第9条 町長は、総合計画を策定し又は変更をしたときは、速やかにこれを公表するものとする。

(委任)

第10条 この条例に定めるもののほか必要な事項は、町長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(武豊町総合計画審議会条例の廃止)

2 武豊町総合計画審議会条例(昭和48年条例第19号)は、廃止する。

8-2 武豊町総合計画審議会規則

令和元年9月26日規則第5号

武豊町総合計画審議会規則

(趣旨)

第1条 この規則は、武豊町総合計画条例(令和元年条例第5号)第4条第1項の規定に基づき、武豊町総合計画審議会(以下「審議会」という。)の組織及び運営について必要な事項を定めるものとする。

(所掌事務)

第2条 審議会は、町長の諮問に応じて次に掲げる総合計画の策定に関する事項について、必要な調査及び審議を行い、その意見を答申するものとする。

- (1) 武豊町総合計画基本構想に関すること。
- (2) 武豊町総合計画基本計画に関すること。
- (3) その他町長が必要と認める事項

(組織)

第3条 審議会は、委員25人以内をもって組織し、次に掲げる者のうちから、町長が委嘱する。

- (1) 町教育委員会の委員
- (2) 各種団体の代表者
- (3) 知識経験を有する者
- (4) 公募による者
- (5) 前各号に掲げる者のほか、町長が必要と認める者

(会長及び副会長)

第4条 審議会に会長及び副会長を置き、委員の互選により定める。

- 2 会長は、会務を総理する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(任期)

第5条 委員の任期は、委嘱の日から、審議会における調査及び審議が終了し、その結果を町長に答申するまでの期間とする。

(会議)

第6条 審議会の会議は、会長が招集する。

- 2 審議会の会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。
- 3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。
- 4 審議会は、必要があると認めるときは、審議会の会議に関係者の出席を求め、説明又は意見を求めることができる。

(委任)

第7条 この規則に定めるもののほか、審議会に関し、必要な事項は、町長が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、公布の日から施行する。

(経過措置)

- 2 この規則の施行後最初に開かれる審議会は、第6条第1項の規定にかかわらず、町長が招集する。

第6次武豊町総合計画

スマイルビジョン TAKETOYO

2021年(令和3年)3月

編集:武豊町役場 企画部 企画政策課

〒470-2392

愛知県知多郡武豊町字長尾山2番地

TEL:0569-72-1111(代表)

E-mail kikaku@town.taketoyo.lg.jp

HP <https://www.town.taketoyo.lg.jp/>

Twitter https://twitter.com/taketoyo_machi

Smile Vision



TAKETOYO